

【参考】

1. 「航空産業非破壊検査トレーニングセンター」開設の背景

航空機産業は近年コスト削減要求の高まりを受けて海外との競争が激化しているなか、非破壊検査を含む複数工程もしくは一貫生産体制への対応ニーズは益々高まってきています。しかしながら、非破壊検査員は国内での資格取得が困難であり事業拡大に向けた最大の障壁となっていました。

この障壁を改善すべく検討が重ねられた結果、兵庫県との連携の下、平成 29 年 12 月に兵庫県立工業技術センター内に、国際認証規格 (NAS410) に準拠した国内初「航空産業非破壊検査トレーニングセンター」が開設されました。

これにより国内での非破壊検査員育成が可能となり、国際競争力のあるサプライチェーン構築を加速させることができます。「関西航空機産業プラットフォーム NEXT」でも、本トレーニングセンターでの講習が効果的に進められるよう認証取得・人材育成支援として企業への周知等の支援を行っています。

2. 「航空産業非破壊検査トレーニングセンター」の概要

- ・ 場所：兵庫県立工業技術センター
- ・ 導入設備：航空機業界において特にニーズの高い下記 3 手法に対応。

検査方法	概要
浸透探傷検査 (PT)	浸透液の指示模様により表面のきずを検出
磁粉探傷検査 (MT)	磁粉の指示模様により表面付近のきずを検出
超音波探傷検査 (UT)	超音波の反射より内部のきずを検出

- ・ 開講実績：PT、MT、UT それぞれ 1~2 回開催し、令和元年度までに計 24 社延べ 36 名が講習を受講。
- ・ 【参考】受講後の流れ：OJT (On the Job Training) を経て資格試験を合格すれば資格試験機関から国際認証基準に基づく適格性証明書が発行される。

※非破壊検査とは、材料、製品を傷つけたり破壊することなく、表面や内部のきずの有無とその程度を調べる検査。上記 3 手法のほか、放射線透過検査 (RT) や渦流探傷検査 (ET) など様々な手法がある。とりわけ航空機部品は、一般産業用部品と比較し、非常に高い品質が要求され、その品質を確保するための非破壊検査が不可欠であり、その役割が増大している。

(本発表資料のお問い合わせ先)

近畿経済産業局 産業部 製造産業課長 小橋

担当者：高橋、松岡、和田本

電話：06-6966-6022

FAX : 06-6966-6082